

WORKTECH™ Tokyo

WORK / WORKPLACE / TECHNOLOGY / INNOVATION

EXPLORE THE FUTURE OF WORK AND THE WORKPLACE

開催日時・会場：2025年12月15日(月)
12:30 PM - 6:15 PM

虎ノ門ヒルズフォーラム ※日英同時通訳付

EVENT SPONSORS

HOST PARTNER



PLATINUM SPONSOR

KOKUYO

GOLD PLUS SPONSOR



SILVER SPONSOR



BRONZE SPONSOR



KNOWLEDGE PARTNER



SUPPORTED BY





Isabel Dewhust-Marks

マネージング ディレクター
WORKTECH Events

Welcome to WORKTECH25 Tokyo

WORKTECH は、仕事とワークプレイスの未来・不動産・テクノロジー及びイノベーションの未来を探求する20年以上の歴史を持つ世界有数のグローバルカンファレンスです。

今年の東京版カンファレンスでは、世界トップクラスの国際的な基調講演者と専門家の方々が、仕事とワークプレイスが2025年にどのように進化しているかについて、グローバルな視点を共有します。尚、全てのセッションに英語と日本語の同時通訳が提供されます。

当プログラムは主にプレゼンテーション中心で構成された厳選されたセッションに加え、参加者の皆さまが意見交換や人脈形成等の新しい交流ができるネットワーキングの為に休憩時間を設けております。

参加者皆さまにとって、グローバルな視点と斬新な発想に満ちた刺激的な一日となるよう WORTECH 25 TOKYOでお迎えできることを楽しみにしております。

Isabel Dewhust-Marks

イザベル・デューハースト＝マークス

WORKTECHについて

WORKTECH は、仕事とワークプレイスの未来について、認識を深め、変化を促し、スペシャリスト達のインサイトを提供することを目的とした総合的なリサーチ・プラットフォームです。当フォーラムは、2003年にフィリップ・ロス氏とジェレミー・マイヤーソン氏によって立ち上げられた初の業界特化型カンファレンスを母体としており、現在ではワークプレイス・インテリジェンスに関する世界有数のカンファレンスおよびリーダーシップシリーズとなっています。

今年で設立 22 年目を迎えたWORKTECH は、今や世界40 都市以上に拡大し、フォーチュン500に名を連ねる先進的な業界のプロフェッショナルを集め、国際的な思想的リーダーから学び、仕事とワークプレイスの未来について話し合い、考察する場を提供しています。

WORKTECHは現在、仕事とワークプレイスの未来に携わるプロフェッショナルのための主要な国際フォーラムであり、学際的な講演、双方向のディスカッション、創造性を高めイノベティブ思考の限界を押し広げるラーニング・エクスペリエンスを通じて、ワークプレイス コミュニティに新しいアイデアとインスピレーションをもたらしています。



企業のシニア エグゼクティブの意思決定者とのネットワーク

ワークプレイスの最新トレンドを知る機会



世界の思想的リーダーから話を聞く絶好の場

ベストプラクティスとイノベーションから受け取るインスピレーション



EVENT FORMAT

当カンファレンスは、下記プログラムのタイムスケジュールで行われ、参加者は全てのスピーカーのプレゼンテーションにご参加が可能です。登壇と並行し、エデュケーション パートナーとのネットワーキングの場としてキュレーションされたイノベーション・エキシビションを同時開催します。また、参加者同士のネットワーキングの場として、セッション途中にはコーヒースタンドの時間を設け、休憩エリアにて軽食の提供がございます。尚、当カンファレンスでは、全てのセッションに日英同時通訳機能が付いております。

登壇者プロフィール



Aurelio David （アウレリオ・ディビット）
Workplace Research and Experimentation, シニアマネージャー
LinkedIn

LinkedIn Experimentation 実証プログラムを統括し、リサーチの成果をパイロットプロジェクトや実験へ展開を行うチームを主導。複数の社内ワークプレイスグループと連携し、オフィス家具、空間タイプ、テクノロジーを含む革新的なワークプレイスに関するプロダクトのテストを実施。定量・定性的リサーチ手法と実験デザインを組み合わせることで、新しいプロダクトが従業員体験の向上、ワークプレイス設計の改善、大規模導入に適しているか評価を行う。LinkedIn入社以前には、複数の組織においてリサーチ・戦略・デザイン交差の分析に携わり、Gensler社ではデザインストラテジストとして、数多くのFortune 500企業に対しポートフォリオ最適化・空間分析・従業員エンゲージメントに関する向上策など多様なワークプレイス戦略イニシアティブに関するコンサルティングを提供。



Orsolya Kovacs （オルショヤ・コヴァーチ）
People Strategy & HR, パートナー・アソシエイトディレクター
Boston Consulting Group

BCGにおける人事動向、スキルアップ戦略、人材選考に関する第一人者の一人であり、世界の主要企業が将来に向けて人材育成を構築する取り組みを支援。また、グローバルでの人材動向に関する研究をリードし、数多くの出版物を執筆。その中には、2023年ハーバード・ビジネス・レビュー（HBR）賞を受賞した記事「Reskilling in the Age of AI（AI時代のリスキリング）」も含まれる。その研究成果は HBR、ウォール・ストリート・ジャーナル、フィナンシャル・タイムズ など多くのメディアで紹介されており、人事サミットやCHRO（最高人事責任者）ラウンドテーブルでも頻繁に登壇。



Wilco Poppelier （ウィルコ・ポペリエ）
Global Head of Workplace Strategy
Miro

10年以上にわたり、様々な業種やクライアントに対しワークプレイスおよび変革コンサルティング業務に携わり、ユーザー主導のワークプレイスプロセスとクリエイティブを確立。ユーザーの成功を支援することを目標としている。2022年より、視覚的なプロジェクト、ブレインストーミング、デザインに活用されるオンライン共同ホワイトボードプラットフォーム「Miro」において、グローバルワークプレイス戦略・プロジェクトのグローバルリードを務める。以前はDrees & Sommer社にてワークプレイス&変革コンサルタントとして従事。



Daaf Serné （ダフ・サーン）
Head of Workplace & Sustainability
Miro

ワークプレイスにおける健康とウェルビーイングを促進する持続可能な環境づくりに情熱を注ぐ、経験豊富なワークプレイス専門家。現在Miroのワークプレイス&サステナビリティ部門責任者として、革新的なワークプレイスソリューションとサステナビリティイニシアチブの推進に大きく貢献。戦略的思考と広範な影響力を持つリーダーシップのバックグラウンドを持ち、複雑なプロジェクトの成功管理と協働環境の構築において数多くの実績を有し、注目すべきプロジェクトにおいて専門性を発揮。特にMiroの「Learning Lab」戦略の立ち上げや、アムステルダムにおける「Miro100」プロジェクトを主導。当プロジェクトでは、Miroプラットフォームの革新的な活用を通じ、社内外のエンゲージメント向上にフォーカス。戦略的ビジョンと実践的な実行力を融合、ワークプレイス戦略とサステナビリティ分野で高い評価を受ける講演者かつ思想的リーダー。



Robert Greenwood （ロバート・グリーンウッド）
Partner, Director Asia Pacific
Snøhetta

英国で教育を受け、1993年にSnøhettaに入社。エジプトのアレクサンドリア図書館の設計と建設において中心的な役割を果たす。2006年にパートナー兼ディレクターに就任、国際プロジェクトを統括。2017年よりアジア太平洋地域の設計業務を担当。2018年にはSnøhetta香港スタジオを設立。主なプロジェクトには、アレクサンドリア図書館、ニューヨークの9.11記念館パビリオン、上海グランドオペラハウス、上海南京東路拡張プロジェクト、北京図書館、香港のAIRSIDE、ダーランのキングアブドゥルアジズ世界文化センター、リヤドのカスル・アル・ホクム駅、バイルートのフランス・レバノン銀行本社、釜山オペラハウス、東京・渋谷アッパーウエストプロジェクト等がある。設計活動と並行し、建築教育と研究に深く取り組む。オスロ建築デザイン大学、ベルゲン建築大学、マドリードのIE大学、上海の同済大学、ボローニャのYACademy、2023年ソウル建築都市ビエンナーレなど、世界中の数多くの教育機関やデザインフェスティバルで講演を行う。

登壇者プロフィール



KOKUYO

田中康寛
コクヨ株式会社
ヨコク研究所・ワークスタイル研究所 リサーチャー

コクヨにてオフィス家具の商品企画・マーケティングを担当した後、「働き方」や「未来社会」に関するリサーチや企業を対象としたコンサルティング活動に従事。人間工学、ユーザーエクスペリエンス、データサイエンス、産業・組織心理学などの専門性を活用し、グローバルな視点で働き方・働く場・働く人に関する研究・発信に携わる。



石崎 真弓
ザイマックス不動産総合研究所
主任研究員

働き方やワークプレイスをテーマに、オフィスマーケット、オフィス需要動向、ハイブリッドワーク、エンゲージメント、フレキシブルオフィスなどに関する調査・研究を行う。社会や企業の変化に応じた働き方やオフィスの在り方を探り、不動産市場や企業経営に役立つ知見を発信。また、日本ファシリティマネジメント協会、オフィス学会、テレワーク協会など、関連分野の学会・研究団体にも参画し、学術的・実務的な両面から研究活動を行う。



岸 健二
株式会社文祥堂 事業推進部 事業開発担当

株式会社文祥堂 事業推進部で事業開発を担当。2019年に文祥堂へ入社後、マーケティングを経て、企業・自治体・地域コミュニティをつなぐ共創プロジェクトを推進している。小田原市根府川にある「Workcation House U」のプロジェクトリーダーとして、旧公共施設の再生を通じて新たな“4th Place”を創出し、同施設は第3回JOIFAオフィスアワード最優秀賞を受賞。現在は地域共創プロジェクトに取り組むとともに、イベントなどを通じて働く環境づくりに関する発信も続けている。

12:30 | 受付開始

13:00 | オープニング WORKTECH TOKYO 主催者挨拶

Isabel Dewhurst-Marks イザベル・マークス, **Managing Director, WORKTECH Events, UNWIRED Ventures Ltd**

WORKTECH

カンファレンス ファシリテーター: **コクヨ株式会社 WORKSTYLE RESEARCH LAB**
久田 祐里

KOKUYO

13:10 | WELCOME BY MORI ホストパートナー御挨拶 森ビル株式会社

平野 文尉, 森ビル株式会社 Office Business Division, Sales Promotion Department, General Manager



13:20 | AI主導のワークプレイスデザインとは：チームダイナミクスとコラボレーションの未来をAIがどう形成するのか

Aurelio David
[アウレリオ・ディビット]
Workplace Research and Experimentation, シニアマネージャー LinkedIn



AIが仕事の本質を変革する中、LinkedInのWorkplaceチームでは物理的空間が新たなコラボレーション形態をどのようにサポートするかを再考し、柔軟なワークプレイス戦略を推進。本セッションでは、40人のリーダーへのインタビューを含む最近の研究成果の知見と、小規模で自律的なクロスファンクショナルチーム”pods”向けに専用のAI搭載環境をテストするために設計された11週間の実験から得られた知見を紹介。LinkedIn本社での“Pod Work Area”パイロット版では、2つのpods（9名と13名で構成されたPodチーム）を、昇降式デスク、コラボレーションスペース、そしてエージェント技術を備えたアジャイルプロジェクトルームを備えた専用ゾーンに割当。アンケート、インタビュー、観察、シミュレーションを用いて、近接性、空間設計、そしてAIが、意思決定と実行のギャップを埋め、パフォーマンスと心理的安全性を促進する方法を探る。当セッションでは世界35拠点以上のオフィスで 25,000 人以上の従業員を擁するLinkedIn が、コラボレーションがより迅速且つスマートに、人間的な未来に向けてどのように準備を進めているかについて考察します。

14:00 | MIROのユーザー主導型ワークプレイスとは

Wilco Poppelier [ウィルコ・ポペリエ]
Global Head of Workplace Strategy, Miro

Daaf Serné [ダフ・サーン], **Head of Workplace & Sustainability, Miro**



Miro（ミロ）のアムステルダム本社は、コスト効率の高いデザインと社員にとって意味のある環境の両方を実現しています。

このオフィスは、地球環境に優しく、誰もが働きやすく、常に進化していく場所です。皆が協力し、新しいアイデアを生み出せるようデザインされており、これはMiroの目指す姿や製品の考え方そのものを表しています。

社内で「ラーニング・ラボ」と呼ばれているこの場所は、社員からの意見で作られる、生きた、変化し続ける環境として、オフィスのあり方を変えています。

デザインの際、スタッフはアンケートや話し合い、ワークショップなどを通じて意見を出し合い、「たぶんこうだろう」という思い込みではなく、「本当に必要とされていること」を満たすようにしました。

その結果、変化に対応でき、仕事の成功を助け、社員の創造性や学び続ける姿勢を育む職場ができました。この「ラーニング・ラボ」のやり方を4年以上続けたデータに基づき、Miroはこれからのオフィスがどうあるべきかというビジョンを作り上げています。

14:40 | オフィスの外に広がる働く場の再定義：公共施設再生から見た"フォースプレイス"の可能性

岸 健二
株式会社文祥堂 事業推進部 事業
開発担当



本セッションでは、地方にある旧公共施設を「4th Place」へと再生し、働き方・地域・ワークプレイス体験の新たな可能性を示した事例を紹介します

14:45 | コーヒーブレイク&ネットワーキング

15:25 | 予測不能な未来に向けた人材戦略とは

Orsolya Kovacs [オルショヤ・コヴァーチ] Partner and Associate Director,
People Strategy & HR, Boston
Consulting Group



テクノロジーが仕事やスキルに影響を与えることは必ずしも目新しいことではありませんが、そのスピードは前例のないほど加速しています。将来必要となるスキルは、労働市場で入手できなくなる一方、先進国では高齢化により人材が枯渇しつつあり、新世代はワークプレイスに異なる期待を抱いています。こうした状況が重なり人材とスキルは益々希少化しています。しかし、殆どの企業は、数年後にどのようなスキルや仕事が必要になるか予測できない世界の中で人材管理の理念やプロセスの適応を模索しています。当セッションでは、企業が人材を調達、育成、管理する方法に必要なパラダイムシフト、そしてこの変化を推進するために人事部門がどのように進化する必要があるかについて深く掘り下げます。データに基づき、BCGによる最新の人材選好に関する調査（全世界15万人の労働者を対象とした「2024年版 グローバル人材の分析」調査）を活用。主要40社のスキルと人材管理に関するケーススタディを紹介し、1,000社以上の企業を対象とした再スキル化・スキルアップに関するベストプラクティス調査結果を分析します。

16:05 | 繋がる為のデザインとは：プレイスメイキングと都市における働き方の未来

Robert Greenwood [ロバート・グリーンウッド] Partner, Director Asia
Pacific, Snøhetta



パートナー兼アジア太平洋地域のデザインディレクターであるグリーンウッド氏が、建築とデザインが仕事と都市生活の未来をどのように形作ることができるかについて語ります。渋谷アッパー・ウエスト・プロジェクトを例に、プレイスメイキングが文化、コミュニティ、そして商業を繋ぎ、創造性、コラボレーション、そしてウェルビーイングを刺激する環境を創造する方法を解説。都市が進化する中で、思慮深いデザインがオフィスや地域、人々を結びつけ、共通の目的意識を反映する活気ある空間へとどのように変革できるかを探ります。

16:45 | "IKIGAI"から"WEKIGAI"へー文化比較から紐解く日本の働く幸せー

田中康寛
コクヨ株式会社
ヨコク研究所・ワークスタイル研究所
リサーチャー



日本社会における「働く幸せ」とは何でしょうか。本セッションでは、文化比較の視点からアジアで大切にされる幸福感を紐解き、「協調性」と「自立性」がバランスよく両立することで、イノベーションと個人の幸福が共に実現する職場環境を考察します。さらに、先駆的な企業事例をもとに、ウェルビーイングなワークプレイスのあり方を探求していきます。

17:15 | エキスパートによるディスカッション：グローバルな洞察・ローカルな未来とは：日本における働き方と場の再定義

石崎 真弓

ザイマックス不動産総合研究所, 主任
研究員

Aurelio David, Sr Manager, Workplace
Research and Experimentation,
LinkedIn

Orsolya Kovacs, Partner and Associate
Director, People Strategy & HR, Boston
Consulting Group

Robert Greenwood, Partner, Director
Asia Pacific, Architect, Snøhetta

LinkedIn、BCG、Snøhettaの国際的なリーダーが一堂に会しワークプレイス戦略・人材・デザインにおけるグローバルトレンドが日本市場にどう影響するかを考察。当セッションでは、AIを活用した協働、スキル変革、人間中心の場所づくりといった概念が、日本の文化的価値観、組織構造、進化する働き方にどう交差するかを検証します。現代の日本において、真に効果的で意義あるワークプレイスの要素とは何か、そしてグローバルな知見をどう適応させれば、人と企業の双方にとってイノベーション、ウェルビーイング、長期的な価値を両立させる環境を創出できるかについて議論します。



17:35 | WORKTECH25 TOKYOクロージング WORKTECH主催者挨拶

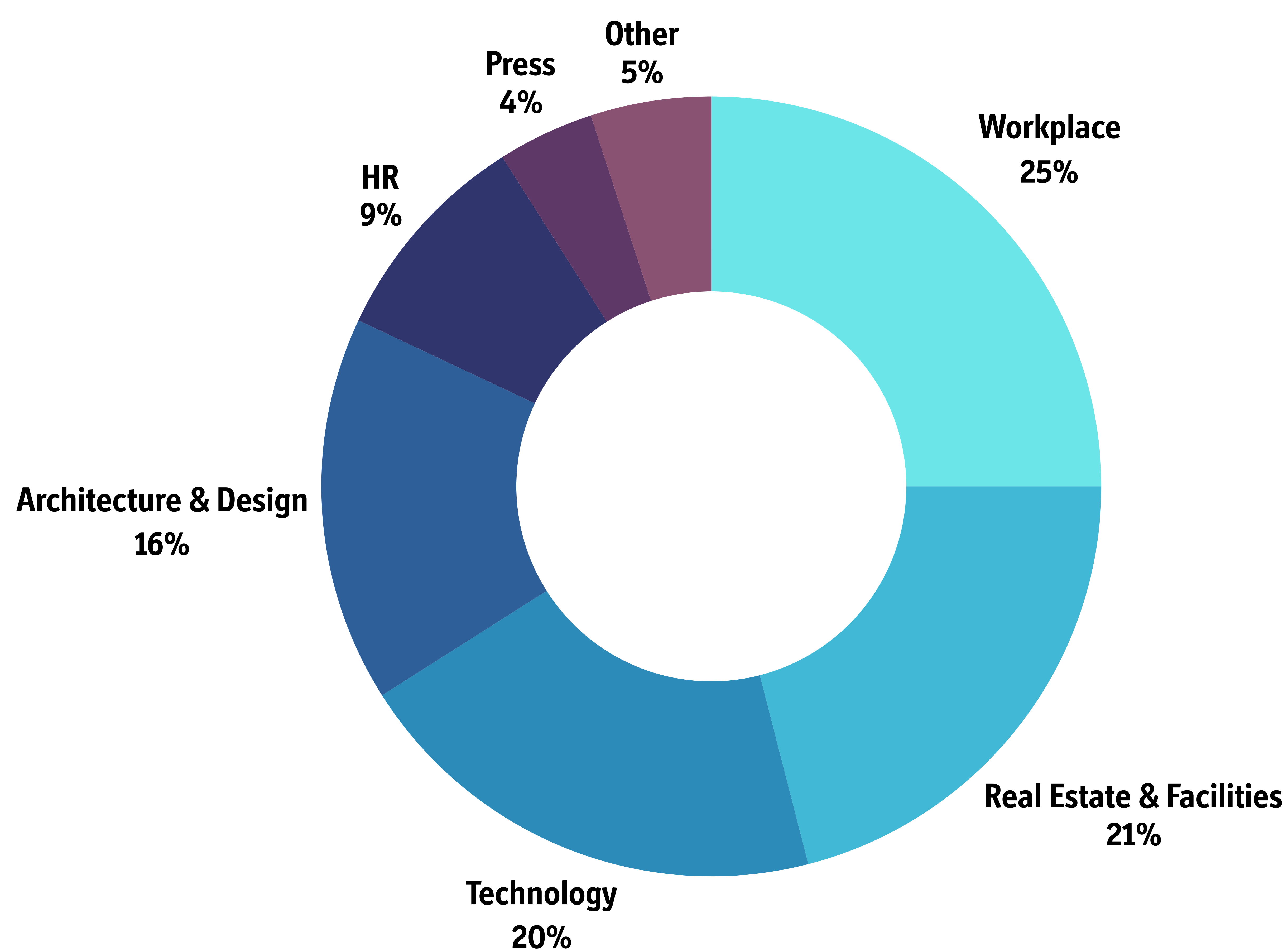
Isabel Dewhurst-Marks, Managing Director, WORKTECH Events, UNWIRED Ventures Ltd

WORKTECH™

17:45 | ドリンク & ネットワーキング

18:15 | カンファレンス終了

参加者 職種分布



非常に有益で、目からウロコの情報、
価値のあるカンファレンス

LEGO レゴ 参加者の声



有益で、インサイトに富み、よく計画され、
スピーカー陣も豊富。毎度新しい発見と出会えます！

UNILEVER ユニリーバ 参加者の声



参加申込は
こちら→

www.worktechevents.com/ja/events/worktech25-tokyo/